(様式1)

職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年3月9日

文部科学大臣殿

岩手大学長

岩 淵 明 印

下記の課程を職業実践力育成プログラムに申請します。

記

①学校名:	岩手大学	②所在地:	岩手県盛岡市上田三丁目18-8		
③課程名:	いわてアグリフロンティアスクール	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	H19.9.26
⑥責任者:	高畑義人 岩手大学農学部長	⑦定員:	35名	⑧期間:	1年間
⑨申請する課程の目的・概要:	国際競争力のある高生産性ビジネス農業を育成すべく、経営感覚・企業家マインドを持って経営革新、地域農業の確立に取り組む先進的な農業経営者等を養成することを目的とする。 教育プログラムは、「戦略計画の策定と経営管理」科目、「農業生産管理」科目、「マーケティング」科目、「6次産業化推進」科目、「農業農村マネジメント」科目から構成されており、大学教員のほか試験研究機関や農業団体、先進農家等の実務家を中心とした講師陣により、講義だけでなく実習・演習、現地研修など多様な教育スタイルで実施する。				
⑩4テーマへの該当の有無	地方創生(地域活性化)	⑪履修資格:	学校教育法90条に規定する大学に入学することができる者で、農業又は農業に関連する事業の経験を有すること		
⑫対象とする職業の種類:	農業又は農業に関連する事業				
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・最先端の農業生産や流通に関する知識 ・6次産業化やマーケティングに関する知識 ・農業経営管理に必要な知識と技術 ・戦略計画を策定するために必要な知識 ・地域課題の解決に必要な知識		(得られる能力) ・経営ビジネス感覚と経営能力 ・商品開発とマーケティング能力 ・地域課題解決能力 ・中長期的な戦略計画を自主的に策定する能力		
⑭教育課程:	・「農業生産管理」科目において、土壌管理や病害虫管理等の生産現場における課題と改善方策に加え、食の安全・安心に不可欠な農場の衛生管理や農産物の鮮度保持、流通技術と品質管理についての考え方を習得させる。 ・「マーケティング」科目において、農産物をめぐるマーケット環境や流通のしくみ、商品開発の企画等について演習やグループ討議を行うことにより、農業経営の安定化に向けた考え方を習得させる。 ・「6次産業化推進」科目において、農業経営の安定を図るための6次産業化をビジネスとして推進するために必要な鮮度保持や流通、農産加工等について理解を深める。 ・「農業農村マネジメント」科目において、農業を核とする地域の活性化に向けた取組を支援するため、地域のリーダーやマネージャー役となる人材として必要な知識や能力を習得させる。 ・「現地研修等」において、先進的な経営手法を実践している農業経営事例、新技術の開発や実践の取組を学ぶとともに、先輩である「アグリ管理士」と意見を交換することにより、講義等で学んだ内容について理解を深める。 ・「戦略計画の策定と経営管理」科目において、農業経営管理に必要な知識や「戦略計画」策定に必要な手法を習得させ、これまでの学習で得た知見、ノウハウを用いて、農業を取り巻く環境の分析や自らの経営診断を行った上で、自らの夢や希望を経営ビジョンとして企画し、それを実践するための「戦略計画」を策定させ、修了論文として発表させる。				
⑮修了要件(修了授業時数等):	全ての必修科目を受講し、かつ総履修時間が120時間以上で、修了論文を提出し評価委員会の評価に合格すること。				
⑯修了時に付与される学位・資格等:	「履修証明書」を付与。また、「履修証明書」の授与要件(120時間以上の履修)を満たし、かつ必修科目「戦略計画のプレゼンテーション」で合格の評価を得た者には大学独自の資格「アグリ管理士」を授与。				
⑰総授業時数:	249 時間	⑱要件該当授業時数:	184 該当要件	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	74%

⑩成績評価の方法:	修了論文である「戦略計画」の内容とプレゼンテーションの評価結果及び出席状況
⑪自己点検・評価の方法:	<p>学校教育法第109条に定める自己点検・評価を下記の要領で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業アンケートから受講生の反応を把握し、改善を図る。また、この結果は講師にもフィードバックする。 ・受講者には卒業時アンケートを実施し、その結果は本スクール運営協議会で情報共有し、改善を図る。 ・上記の日常的な点検結果を基に自己点検・評価を実施し、運営委員会を経て役員会で決定する。 <p>以上の内容は本スクールHP等を通じて公表する。</p>
⑫修了者の状況に係る効果検証の方法:	修了者に対して、講義内容の評価、実務への活用状況、及び講義等についての改善点等に関するアンケートを実施する。
⑬企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 岩手県、JAいわてグループ、岩手大学の三者で「いわてアグリフロンティアスクール協議会」に役員会、運営委員会を設置し、教育課程の編成の検討や取組に関する評価を行う。</p> <p>(自己点検・評価) 上記の運営委員会において、構成メンバーとなっている食品関連企業、農協等の意見を伺う。</p>
⑭社会人の受講しやすい工夫:	農業者が主な対象なので、講義日が田植えや稲刈り等の農繁期にかからないよう配慮する。また、必修科目をやむを得ず欠席した受講生には、収録したビデオを貸出し家で自習させ試験するか、あるいは補講を実施する等のフォローアップ体制をとる。
⑮ホームページ:	(URL) http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/iafs/index.html

事務担当者名:	山田 識子	所属部署:	岩手大学農学部地域連携推進室
連絡先:	(電話番号) 019-621-6231 (E-mail) atiren@iwate-u.ac.jp		

*パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。